2020.11.17

〈ＪＮＬＡ試験依頼書〉

産業標準化法に基づく試験事業者に係る試験

コンクリートの圧縮強度試験

一般財団法人建材試験センター工事材料試験所　殿

受付番号	工試第
受付日	年　月　日

＊下記の「試験のご依頼に際して」をご一読いただきます様、お願い申し上げます。　※ **太枠のみご記入下さい。**

依頼者	会社名				
	住所	〒		電話番号：	
	担当者	印			
試験料金請求先		会社名：		電話番号：	
		住　所：		担当者：	
報告書必要部数		通	試験立会	要（　時～）・不要	試験体返還	要 ・ 不要

下記のとおり試験を依頼します。

工事名称	

１．製品規格（日本産業規格）　※ 該当する製品規格にレ点を付して下さい。

コンクリートの圧縮強度試験　試験方法規格 ： JIS A 1108（コンクリートの圧縮強度試験）	
□ JIS A 5308（レディーミクストコンクリート）	□ その他
□ JIS A 5002（構造用軽量コンクリート骨材）	（　）

２．供試体の平行度、平面度及び直角度の測定　※ 要・不要の何れかにレ点を付して下さい。

□ 要 □ 不要	※当センターにて測定を行わない場合、試験報告書中に「依頼者との契約により供試体の形状寸法の許容差の測定を省略している」と記載されます。また、試験方法欄に製品規格(JIS A 5308、又は JIS A 5002)は記載されず、試験方法規格である JIS A 1108 のみの記載となります。

３．供試体　※ 供試体、試験材齢及び試験日等をご記入下さい。

種類の記号			個数	個
作製日		試験材齢（日）		試験日:　年　月　日
養生方法		養生温度（℃）		
スランプ（ｃｍ）		空気量（％）		
［備考］				

「試験のご依頼に際して」

① ご依頼の内容により、試験報告書にシンボルマーク・JNLA 標章を付すことができない場合があります。予め、お問い合わせ下さい。
② 「1. 製品規格(日本産業規格」欄に予め記載された製品規格に該当しない場合、試験報告書の試験方法欄への記載は、製品規格を記載せず、試験方法規格のみの記載となります。当センターにて平行度、平面度及び直角度を測定しない場合も同様となります。
③ 当センターは、ご提出頂いた供試体の圧縮強度試験を実施するもので、試験結果以外の如何なる責任も負いません。
④ 試験結果に対して、仕様、又は規格への適合性の表明(合格／不合格)は行いません。
⑤ ご依頼頂いた試験によって知り得た情報は、機密情報といたします。ただし、法律で要求された場合、または JIS Q 17025 の認証機関等から要請された場合は、必要な情報を提供する場合があります。

建材試験センター記入欄

試験項目	数量	単価	金額
圧縮			
形状			
研磨			
報告書			
小計			
消費税			
合計			

試験受付			
事務担当者	事務責任者	試験監督者	試験室長

［備考］